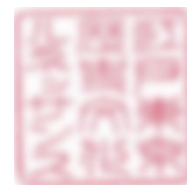


江戸東京歴史文化回廊地域の
多彩な活動と交流
初の本格的な学術・調査、研究（基礎調査の概要報告）

2019年（令和元年） 7月20日
理事長 小竹直隆



日頃より当会の活動に対し、多大なご支援を賜り誠に有り難く篤く御礼を申し上げます。

東京駅周辺は、いま、大規模開発計画で建設ラッシュが始まろうとしています。

2020年は序章に過ぎず、東京五輪後には、高さ200メートルを超えるビルが次々と天を突くように林立し東京駅前周辺の摩天楼は、風景を一変させることになるでしょう。

一方、世界都市東京としての要件を鑑みた時、東京の歴史まちづくりの中核となるべき「江戸城」こそ、歴史や文化に重きを置いた品格あるまちづくりが必要とされています。

江戸城は、外濠に囲まれた水と緑の美しい城郭を形成し江戸の城下町は江戸城を中心に武家地、町地、寺社地などが拡がり、現在も地域特有の散在した歴史文化遺産が時を超えて私達に静かに語りかけています。

本調査では、旧江戸城及び城下町等に保存された其々の文化資源を連携させることによって都市江戸の骨格を読み取り、これらを「江戸東京歴史文化回廊」として位置づけました。その上で、「歴史遺産を巡る文化観光」の開発を行い、同時に、失われた本丸御殿などの「歴史文化遺産の再生・環境整備」の検討を進めて参ります。基礎調査の概要となる報告は機関誌第5号並びに別冊号「江戸東京歴史文化ルネッサンス 事業概要書」の通りです。今後も、順次、ご報告を申し上げます。

機関誌第5号では、旧江戸城及び城下町等の地域では、江戸の歴史や伝統文化が、また、江戸東京の地形を活かした外濠の再生や川下り等、市民活動と産学官の協働する多様な活動が展開されています。

当会とゆるやかに交流・連携を進めている主な団体やコミュニティの活動もご案内させて頂きました。

皆さまには、どうか、お力添えを賜りますよう心よりお願い申し上げます。